

ユーミックス コラム

U-MIX

column ツーバルブシリーズ

ツーバルブ混合栓(定量止水).....K1353D

ツーバルブシャワ混合栓(定量止水)

..... SK1353D

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

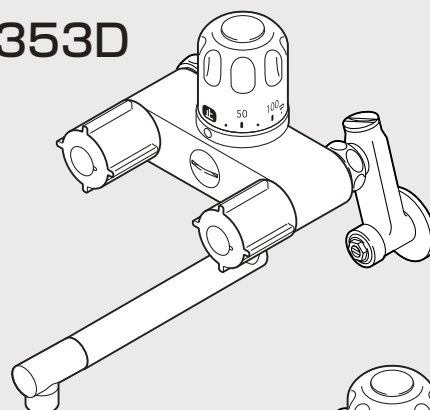
お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

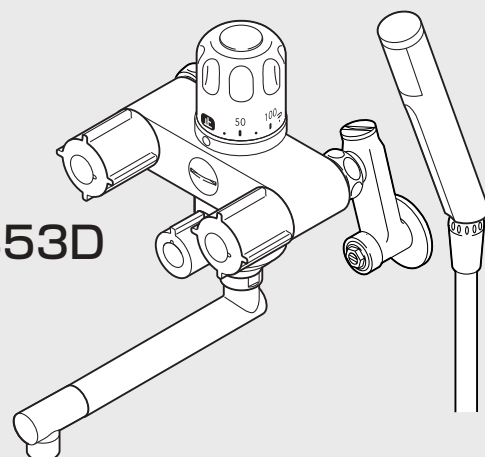
工事店様へ

施工後、この説明書をお客様へお渡しください。
手渡しできない場合は器具に掛けておいてください。

K1353D



SK1353D



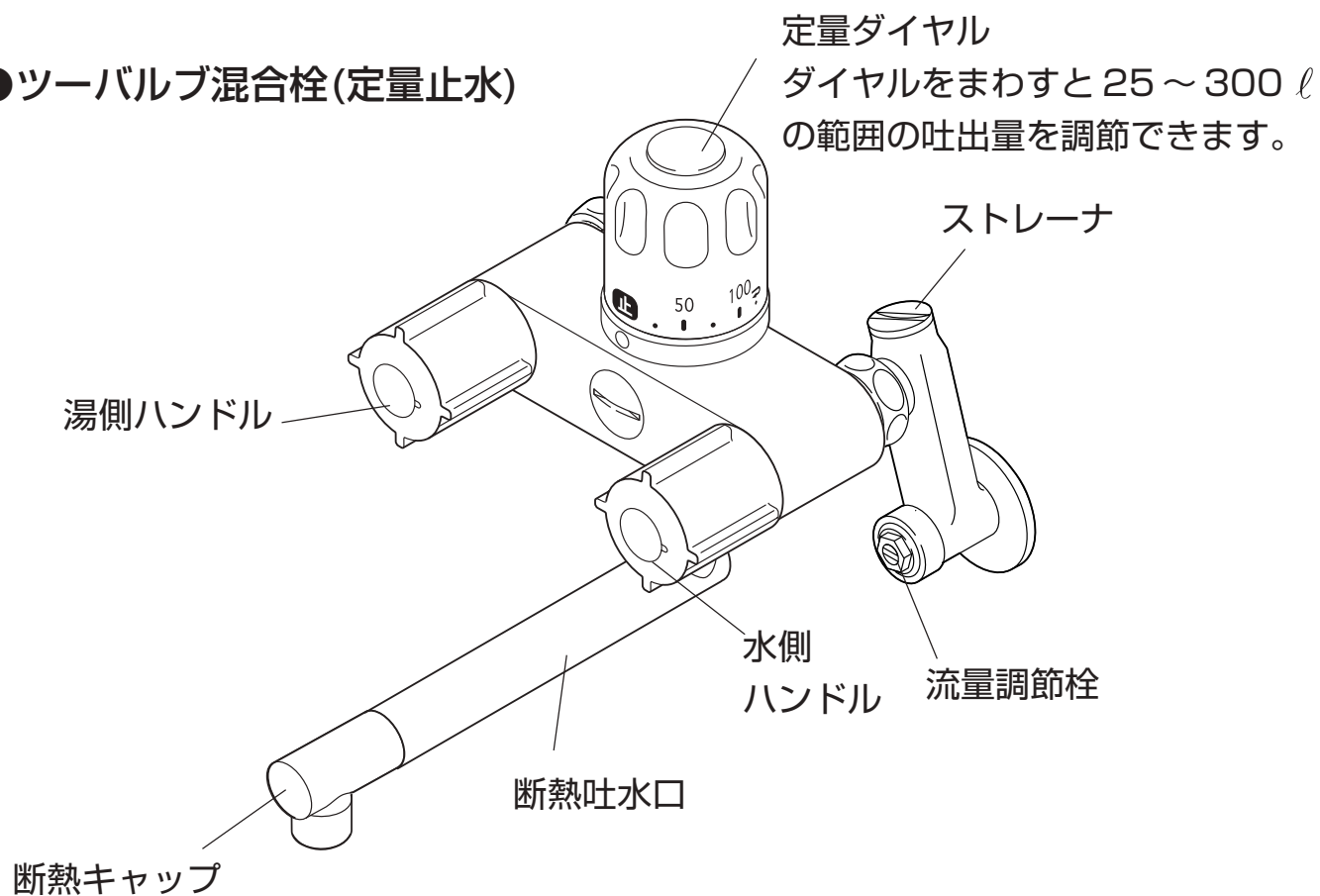
もくじ

| | | |
|-----------------|-------------------|------------------|
| 各部の名称.....1 | 器具の取付け.....6～9 | 故障?その前に.....12 |
| 安全上のご注意.....2～4 | —ご使用について— | 分解図.....13 |
| —施工について— | 流量(水勢)の調整方法.....9 | 保証とアフターサービス...14 |
| 仕様.....5 | 使用方法.....10 | 保証書.....裏面 |
| 適切な使用条件.....5 | お手入れ.....11 | |
| 施工上のご注意.....5 | ストレーナ・吐水口の掃除...11 | |

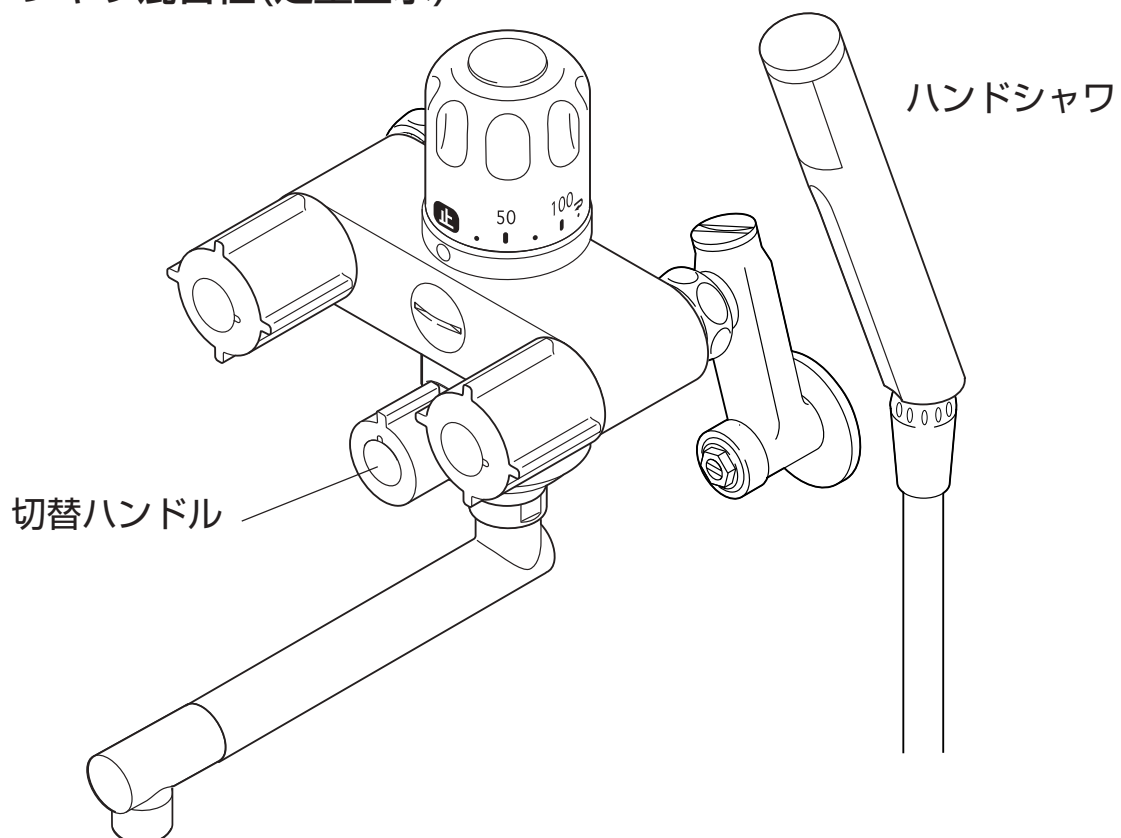
各部の名称

一般用

● ツーバルブ混合栓(定量止水)








● ツーバルブシャワ混合栓(定量止水)



安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません！」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

〈施工上の注意事項〉

注意



湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをする事があります。



凍結が予想される地域には、使用しないでください。
凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



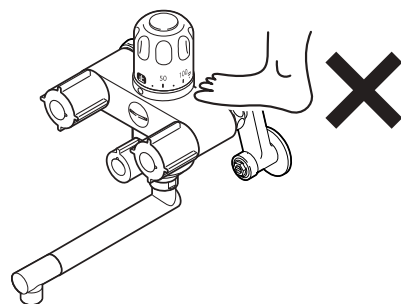
給湯に蒸気を使用しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

〈使用上の注意事項〉

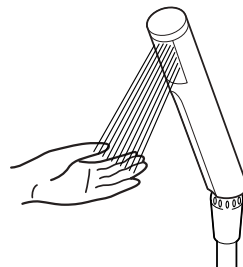
⚠ 注意



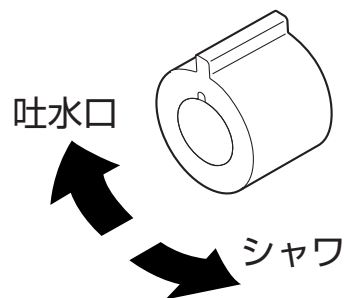
器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。
器具が破損し、ケガをしたり、漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



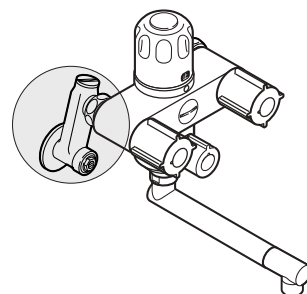
(シャワ付製品の場合)
シャワをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



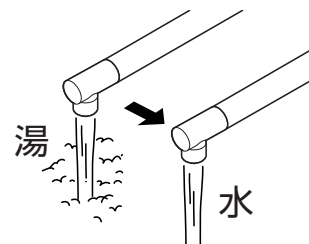
(シャワ付製品の場合)
お使いになる前に、吐水口(カラン)側かシャワ側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。
カラン吐水とシャワ吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。



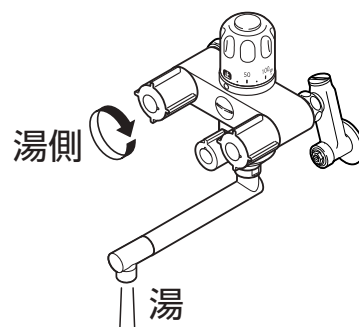
器具の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



湯を止める時は、必ず湯側のハンドルから閉めてください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



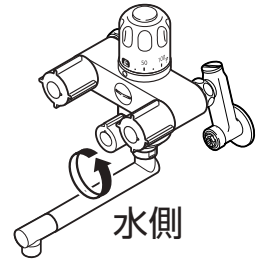
〈使用上の注意事項〉

⚠ 注意



湯をお使いになる時は、必ず水側から開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、好みの温度に調節してください。

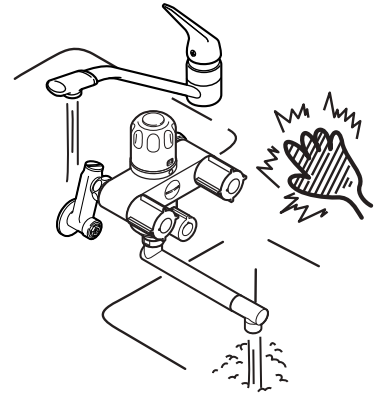
湯側を先に開栓すると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。



他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。

やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動を抑えた配管設備にするか、サーモスタット混合栓を使用ください。

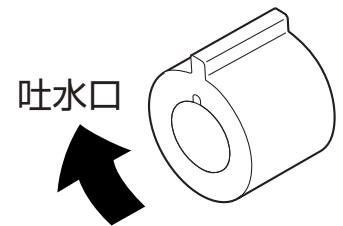
なお、ツーバルブ混合栓に比べサーモスタット混合栓の方が水圧変動による吐水温度の変化はわずかな値となります。



(シャワ付製品の場合)

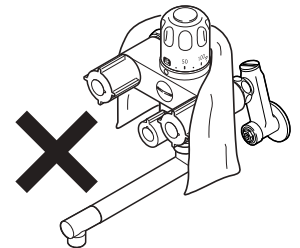
シャワ使用後は、切替ハンドルを必ずバス側(吐水口側)に切替えてください。

切替ハンドルがシャワ側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。



定量ダイヤルの自動回転をさまたげないでください。

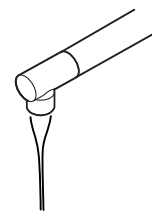
吐水中、回転をさまたげると本体内部の定量止水カートリッジが破損し、定量止水しなくなるおそれがあります。



流量(水勢)を極端に絞らないでください。

流量が少なすぎる(水勢が弱い)と、精度が悪化したり、定量止水しなくなるおそれがあります。

(参照：流量(水勢)の調整方法)



ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こす事がありますので、ゆっくり操作してください。

漏水で家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。

ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。

そして専門の業者に修理を依頼してください。

施工について

仕様

| | | | |
|------------|----------------|------------|------------|
| ●吐出量設定範囲 | 25～300 ℓ | ●吐出量精度保証温度 | 5～50℃ |
| ●吐出量精度 | ±20%以内 | ●吐出量精度保証流量 | 5～20 ℓ/min |
| ●吐出量精度保証水圧 | 0.1MPa～0.3MPa | ●使用可能温度 | 5～80℃ |
| ●使用可能水圧 | 0.1MPa～0.75MPa | | |

適切な使用条件

(1) 貯湯式給湯器・中央給湯式の場合に必要な給水・給湯圧力

| 条 件 | |
|-----------------------------------|----------------|
| ●給水・給湯圧力 | 0.1MPa～0.75MPa |
| ●給水圧力と給湯圧力の差が少ないほど、温度調節がしやすくなります。 | |

(2) ガス瞬間式給湯器の場合の給湯器流入口における最低必要圧力

設定条件

- 水温：25℃
 - ガス瞬間式給湯器の調節ハンドル：高温
 - 吐水温度：42℃
 - 切替ハンドルは全開
- (P = 給湯器の最低作動水圧 MPa {kgf/cm²})

| ガ ス 瞬 間 式 給 湯 器 | | | |
|-----------------|--------------|--------------|---------------|
| 従 来 タ イ プ | | | 比 例 制 御 タ イ プ |
| 8 号 | 10 号 | 12 号 | 16 号 |
| P+0.06 {0.6} | P+0.09 {0.9} | P+0.12 {1.2} | P+0.07 {0.7} |

- 給水圧力は流動時の水圧を示します。
- 快適なシャワ(吐水量が8 ℓ/minで42℃を確保)に必要な値を示しています。
(快適なシャワ(吐水量が6～19 ℓ/min)を得るために、12号以上のガス瞬間式給湯器との組合せが必要です。)
- シャワを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯器の号数(能力)が必要となり、条件に適合しないと、ご希望の吐水温度が得られない事がありますのでご注意ください。
- 給湯能力8・10号では、冬季での快適流量が得る事ができませんので、ご注意ください。

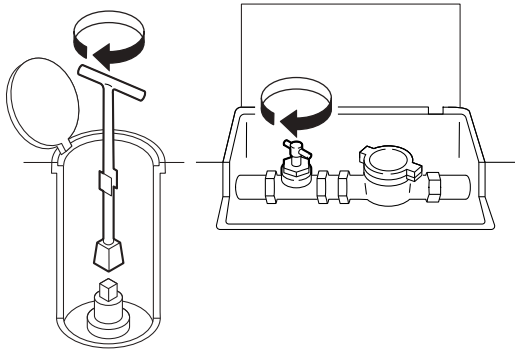
施工上のご注意

- 配管内の掃除……………取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。
- 給水・給湯配管の確認……通常の配管は左側が湯、右側が水です。正しく接続してください。
(逆配管の場合はハンドルキャップの赤と青を入れ替えてください。)
- 飲用不可な井戸水は使用しないでください。
- 給湯には蒸気を使用しないでください。
- ガス瞬間式給湯器からの配管は最短距離で施工し、保温材を巻いてください。

器具の取付け

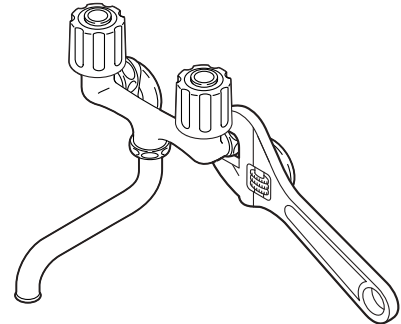
1 止水栓を閉めます。

混合栓のハンドルを開いて、止水の確認をします。



2 古い混合栓の本体をはずします。

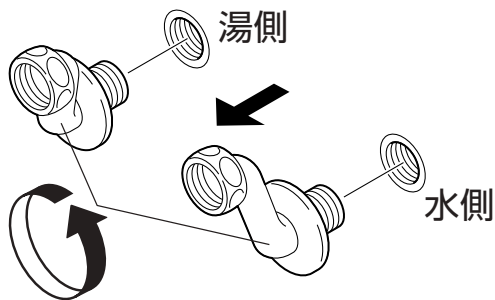
偏心管のナットを交互に少しずつゆるめて取りはずします。偏心管にナットが付いている場合は右、本体にナットが付いている場合は左にまわします。



3 古い偏心管をはずします。

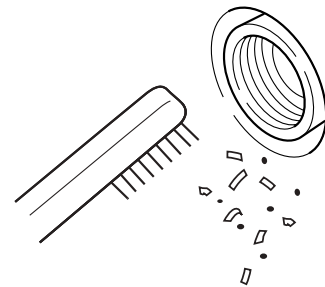
湯側、水側ともに左にまわしてはずします。

(注) 偏心管は必ず取替えてください。



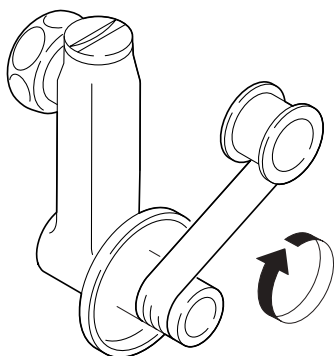
4 配管内の掃除をします。

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除きます。

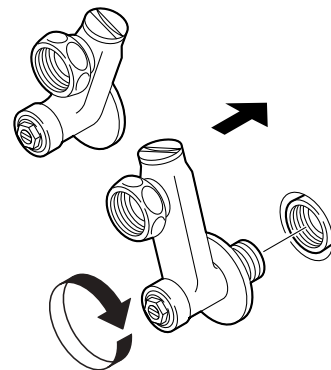


5 新しい偏心管にシールテープを巻きます。

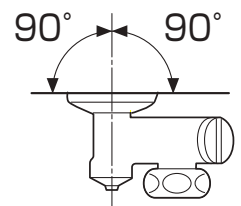
ネジに向かって右向きに、5回程度少し引張りながら、ネジにくい込むように巻きます。



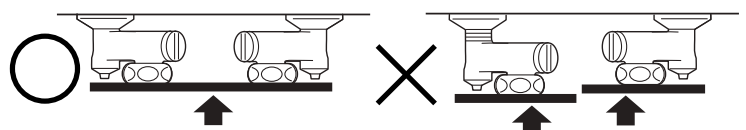
6 偏心管を取付けます。



左右のナットが水平になるように注意して取付けます。本体の取付部とナットの位置が合うように取付けてください。

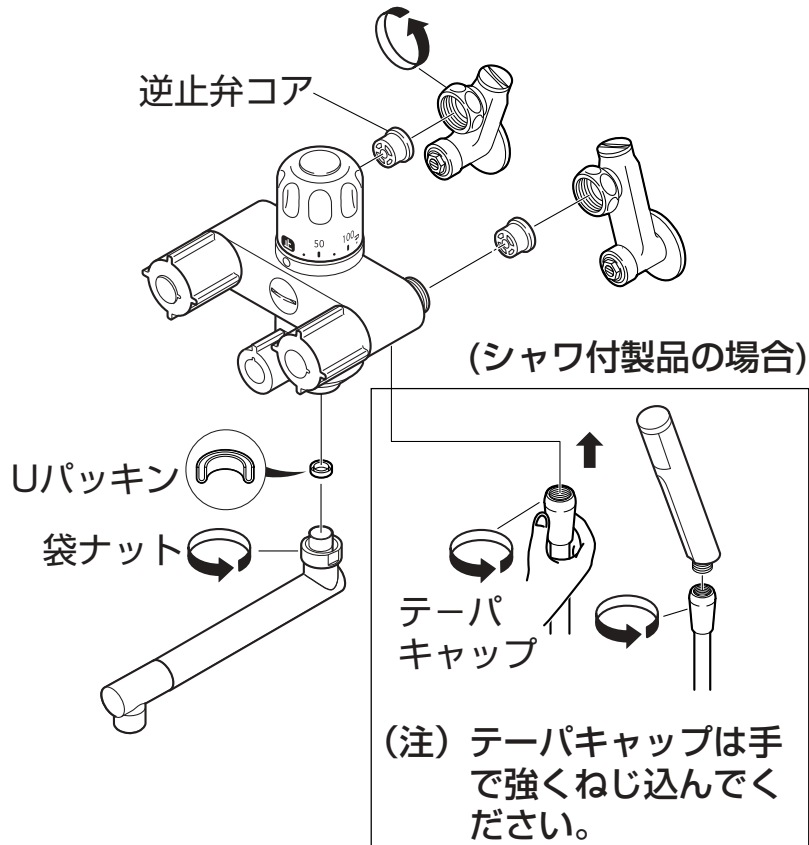


壁面に対して平行になるよう取付けてください。

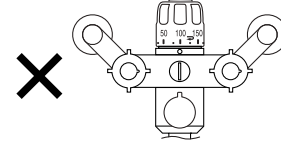
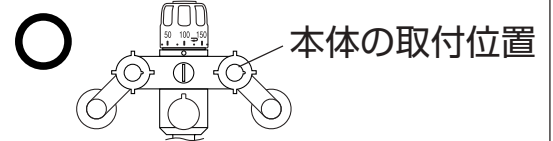


7 本体を取付けます。

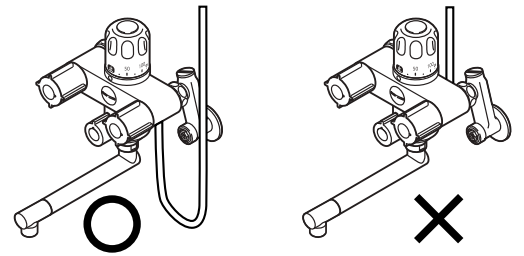
本体と偏心管の間に、逆止弁コアが入っている事を確認し、左右のナットを同じ割合で少しずつ締付けます。



本体の取付位置が偏心管よりも上になるように取付けてください。

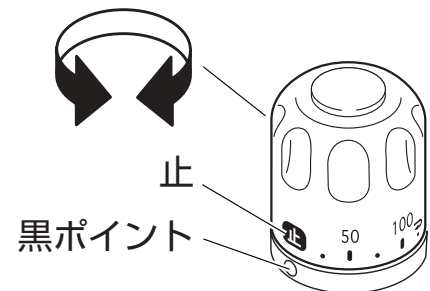


●シャワ付製品の場合



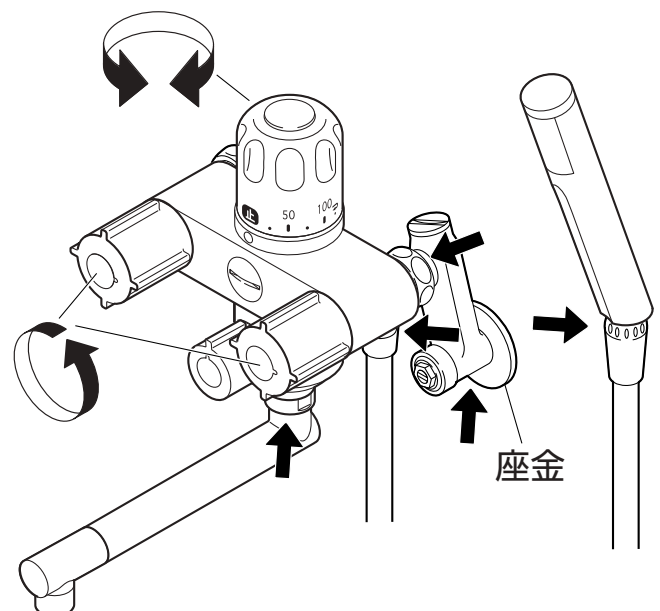
シャワホースは偏心管の下から取出してください。

8 定量ダイヤルの「止」の位置が、黒ポイントの位置にあるか確認してから、止水栓を開けます。



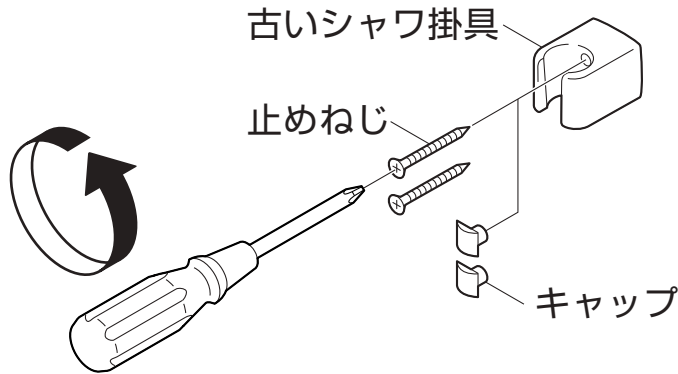
9 接続・水もれの点検をします。

ハンドル・定量ダイヤルをまわして通水し、各部に水もれがないか必ず確認してください。水もれがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。最後に座金を壁面に締付けて完了です。



10 シャワ掛具の取付け（シャワ付製品の場合）

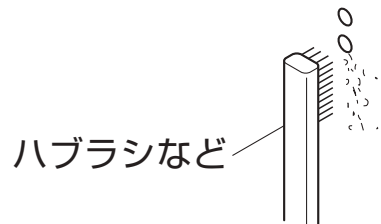
(1) 古いシャワ掛具の止めねじをはずします。



注意

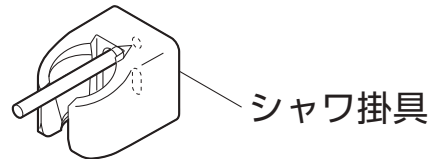
止めねじがない場合や止めねじをはずしてもシャワ掛具がはずれない場合は、接着剤などで固定している可能性があります。無理してはずそうとしないで、そのままお使いください。

(2) 穴を掃除します。



■ 新設の場合

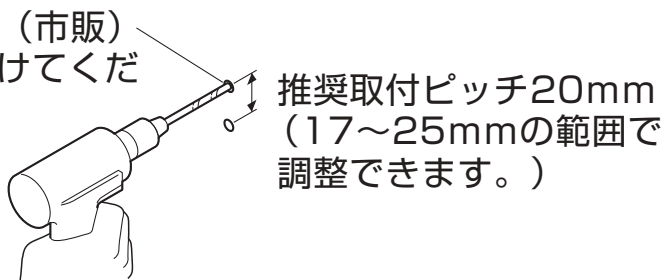
① シャワ掛具の位置を決め、ねじ取付位置に印を付けます。



② 印を付けた位置に電動ドリルなどで穴を開けます。
(コンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルを使用します。)

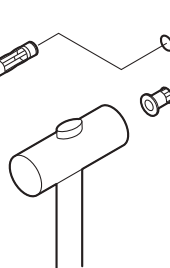
手順③のアンカープラグ（市販）に適合するドリル径で開けてください。

電動ドリル

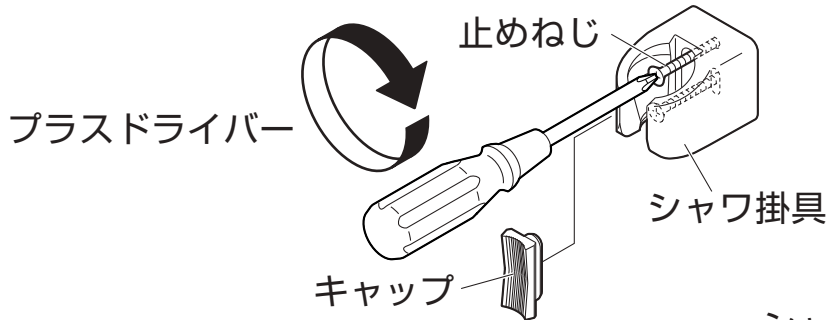


③ 電動ドリルなどで開けた穴にアンカープラグを差し込みます。

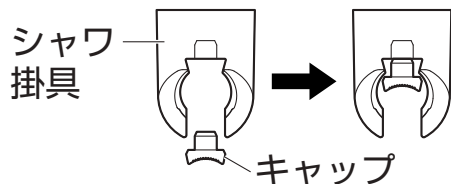
アンカープラグ（市販）
当社の止めねじ4.5×45
に対応するアンカープラグ
を使用してください。



(3) シャワ掛具を止めねじでしっかりと固定します。
最後に穴をキャップでふさぎます。



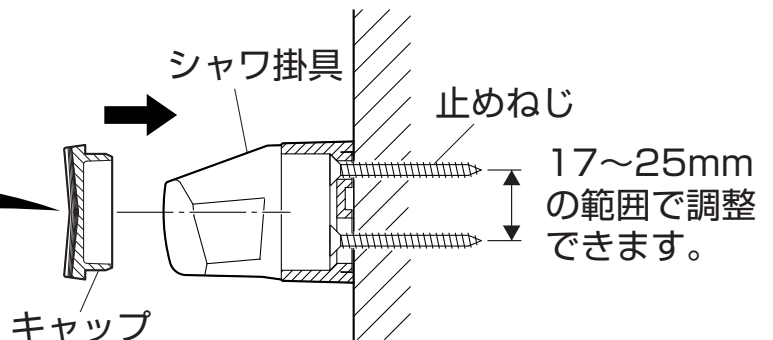
1 キャップをシャワ掛具の穴に入れます。



2 キャップの片側を入れます。

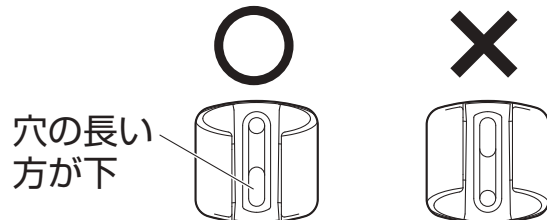


3 キャップの中心を押します。



注意

シャワ掛具の向きに注意してください。
止めねじ穴の長い方が下です。



ご使用について

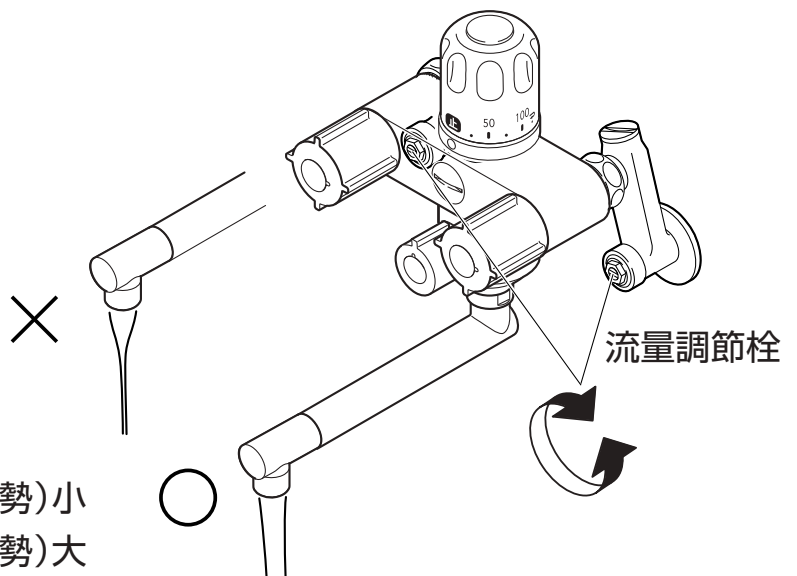
流量(水勢)の調整方法

器具は出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力などの条件により、十分な流量が得られない場合は調整が必要です。

流量(水勢)を絞りすぎますと、精度が悪化したり、定量止水しなくなるおそれがあります。目盛150の時、少なくとも、30分以内で止水するくらいの流量(水勢)でご使用ください。

流量調節栓で流量(水勢)を調節します。

- 流量調節栓を右にまわす……流量(水勢)小
- 流量調節栓を左にまわす……流量(水勢)大



使用方法

定量吐水

湯側・水側ハンドルを開き、定量ダイヤルをまわして設定したい吐出量(ℓ)で目盛を黒ポイントに合わせてください。「止」の位置にくると自動的に止水します。

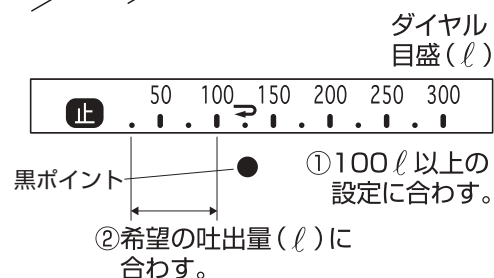
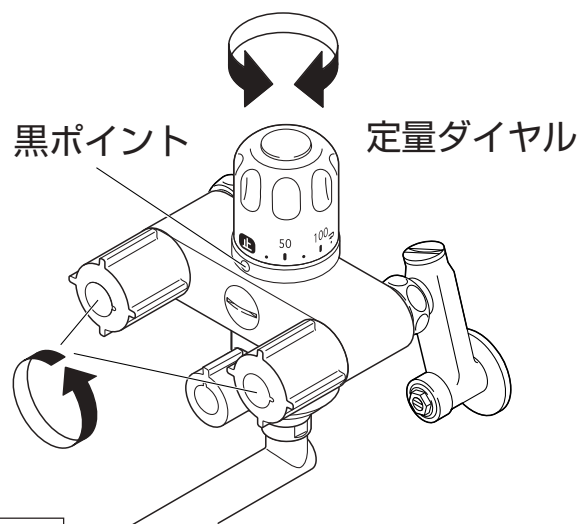
●目盛の目安

定量ダイヤルの数字は、およその吐出量(ℓ)です。実際に、湯水をためてみて浴槽に合った湯量を確認してください。



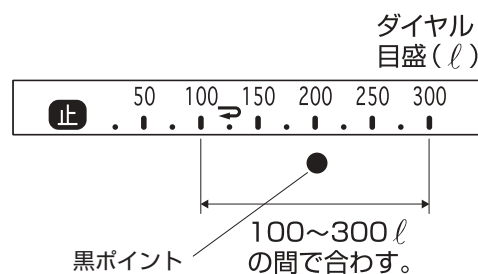
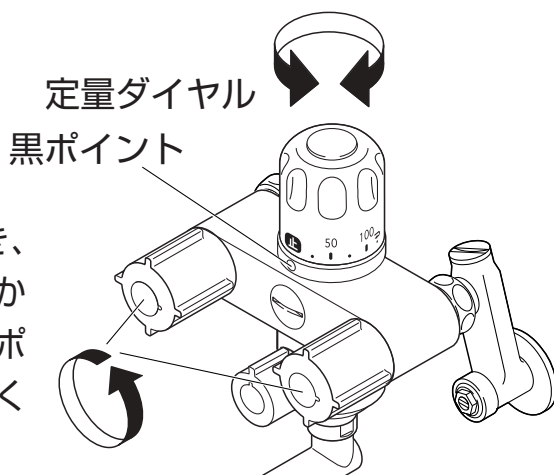
注意

吐水量100ℓ以下の設定の際には、まず定量ダイヤルの目盛を100ℓ以上で黒ポイントに合わせてから、次に定量ダイヤルを戻しながら希望の吐出量(ℓ)に合わせてください。止水不良になる場合があります。



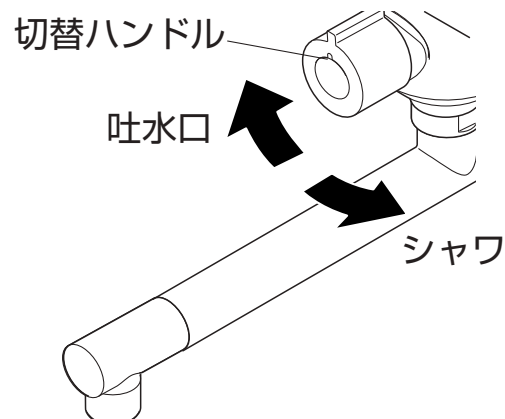
通常吐水

湯側・水側ハンドルを開き、定量ダイヤルの目盛を矢印から100~300ℓの間で黒ポイントに合わせて吐水してください。



シャワ・吐水口の切替え (シャワ付製品の場合)

切替ハンドルを右へまわすと吐水口側、左へまわすとシャワ側に切替えられます。



(注) ガス瞬間式給湯器の場合

湯側ハンドルは全開でご使用ください。給湯器が着火しない場合があります。

お手入れ

●メッキ部分（金属製部品）

やわらかい布で拭き、時にはミシン油やカーワックスを適量にしみこませた布で拭いてください。

●樹脂部分（プラスチック製部品）

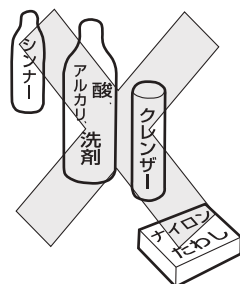
やわらかい布で水拭きをしてください。

⚠ 注意



次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

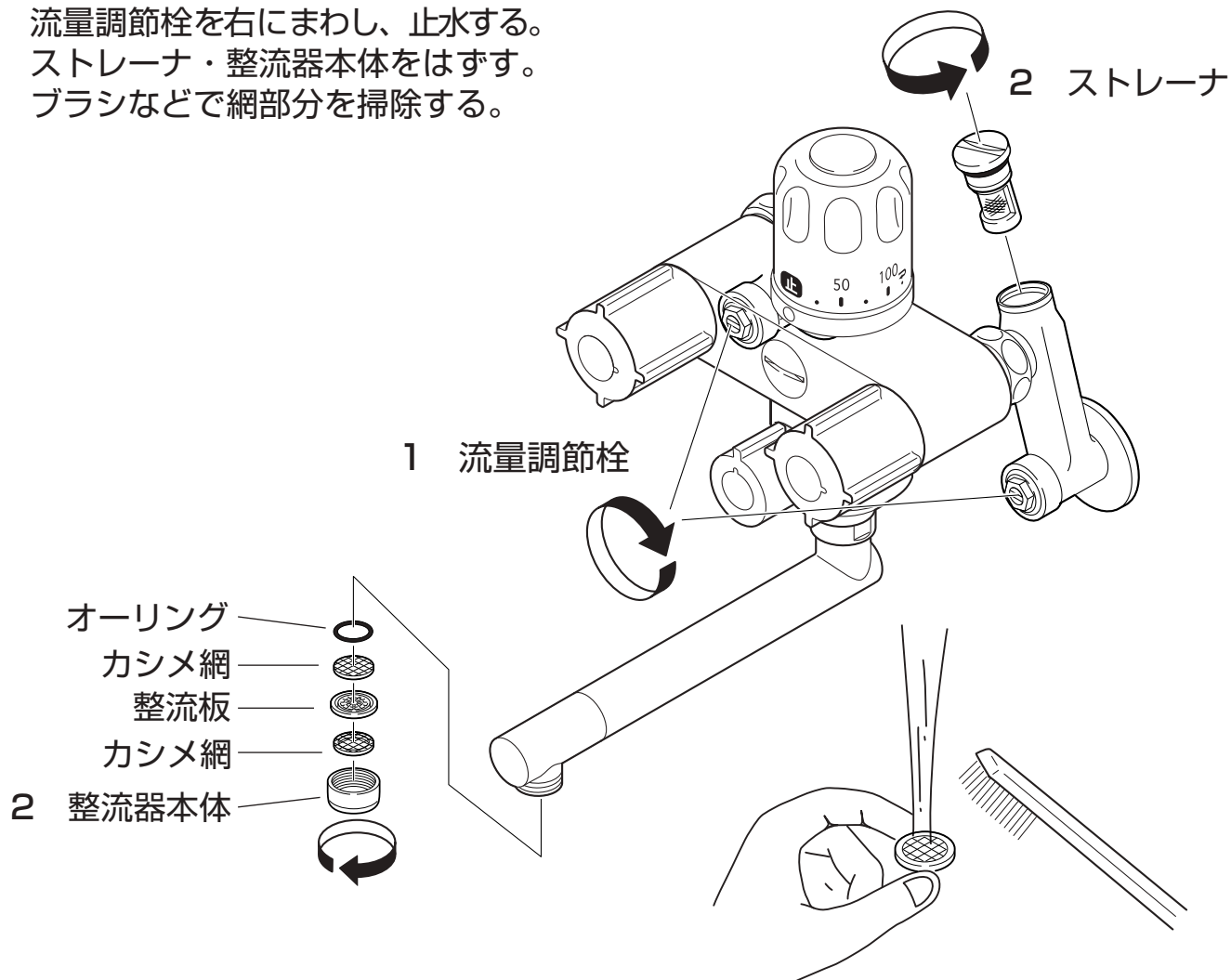
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど



ストレーナ・吐水口の掃除

近所で水道工事があったり、長時間使用し湯水の出が悪くなった時にお調べください。

- 1 流量調節栓を右にまわし、止水する。
- 2 ストレーナ・整流器本体をはずす。
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。



- 再使用时 ●ストレーナ・整流器本体が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。
●十分な流量（水勢）が得られない場合は調整が必要です。
（参照：流量（水勢）の調整方法）

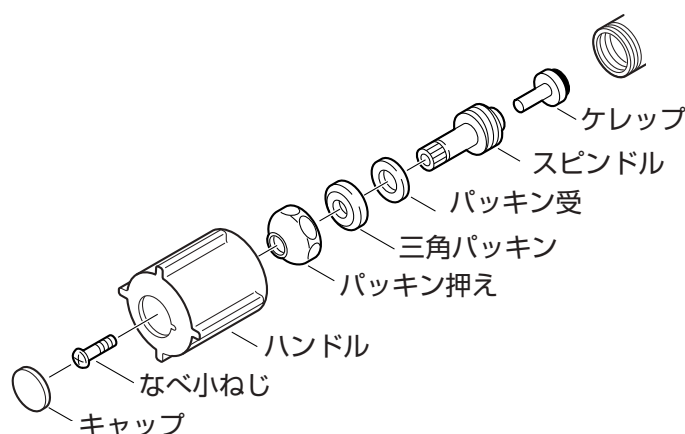
故障？ その前に

修理を依頼される前に下の表に従って点検してください。

| 現象 | 原因 | 点検 |
|---------------------------------|-----------------------------|---|
| 流量(水勢) が少ない。 | 流量調節栓は開いているか。 | 「流量(水勢)の調整方法」参照 |
| | ゴミづまりは。 | 「ストレーナ・吐水口の掃除」参照 |
| 湯・水が止 まらない。 (定量止水 しない) | 定量ダイヤルの合わせかたに、 まちがいはないか。 | 「使用方法」参照 一旦、定量ダイヤルの目盛を100ℓ以上で赤ポイ ントに合わせてから、希望の吐出量(ℓ)に合わせ。 |
| | 定量ダイヤルの回転を、さまたげ ていないか。 | 障害物を取除く。 |
| | 流量調節栓は開いているか。 | 「流量(水勢)の調整方法」参照 |
| 吐出量(ℓ) が大きくなる | 定量ダイヤルの合わせかたに、 まちがいはないか。 | 「使用方法」参照 |
| | 定量ダイヤルの回転を、さまた げているか。 | 障害物を取除く。 |
| 湯側・水側ハン ドルを閉じて も水がもれる。 | ケレップ部のゴミかみは。 | 下図参照 |
| 高温しか出ない。 | 流量調節栓は開いているか。 | 「流量(水勢)の調整方法」参照 |
| ●低温しか出ない。 | 流量調節栓は開いているか。 | 「流量(水勢)の調整方法」参照 |
| ●温度調節がうま くできない。 | ゴミづまりは。 | 「ストレーナ・吐水口の掃除」参照 |
| | 混合栓に湯がきているか。 | 給湯器が着火しているか確認する。 |

●ケレップ部のゴミかみは。

器具への給水・給湯を止め、
湯側・水側ハンドル部分を分
解し、ケレップ部のゴミかみ
があれば取除き、傷があれば
部品を交換する。



以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですが販売店(工事店)にご依頼ください。

⚠ 注意



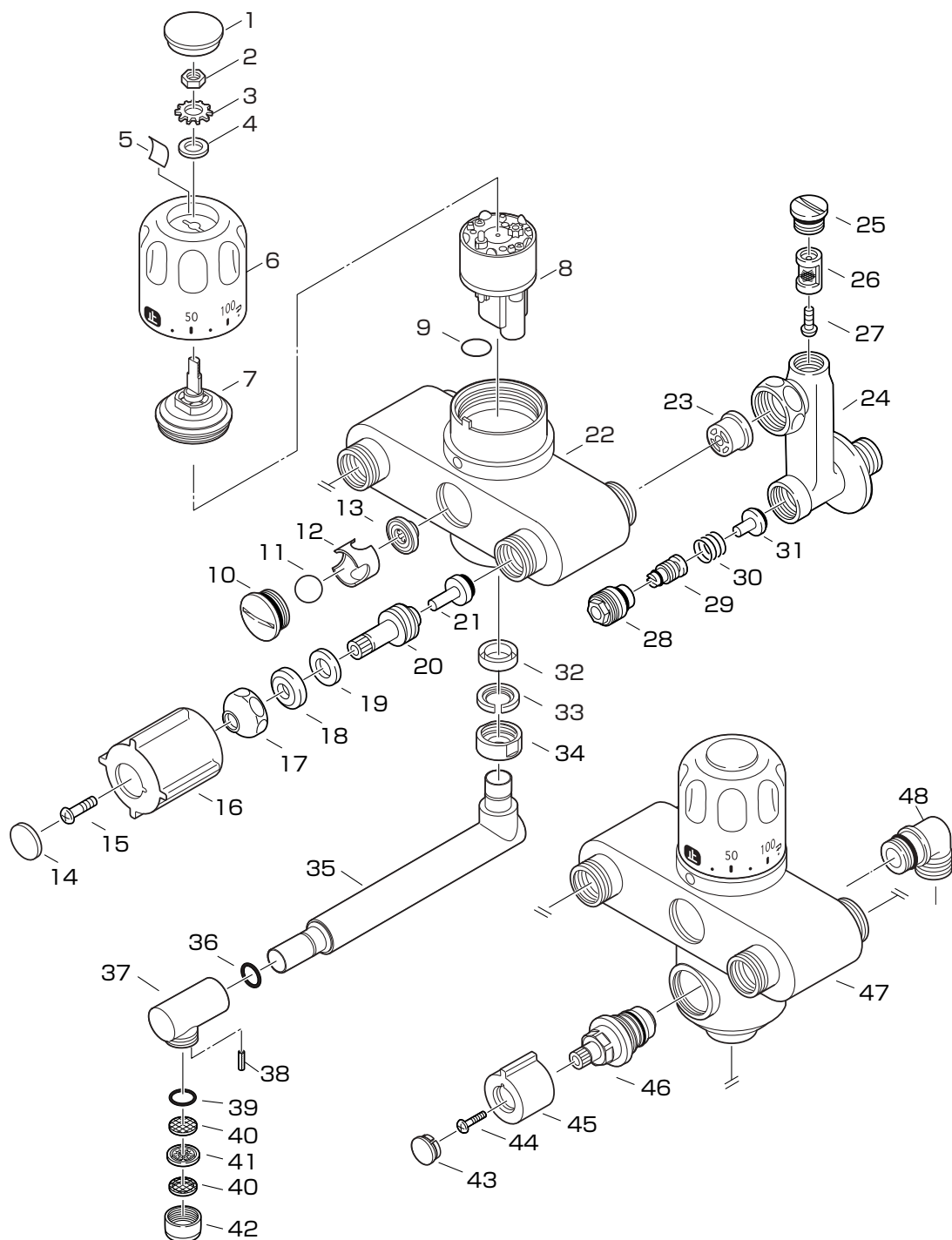
定量止水カートリッジ内部は精密加工されていますので、絶対に分解しないでください。

分解図

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

K1353D

1. キャップ
2. 六角ナット
3. 外歯座金
4. 平座金
5. ツマミ止めバネ
6. 定量ハンドル
7. 定量止水上部
8. 定量止水カートリッジ
9. オールリング
10. ボール筒キャップ
11. ボール
12. ボール筒
13. パッキン
14. キャップ
15. なべ小ねじ
16. ハンドル
17. パッキン押え
18. 三角パッキン
19. パッキン受
20. スピンドル
21. ケレップ
22. 胴
23. 逆止弁コア
24. 偏心管
25. ストレーナキャップ
26. ストレーナ
27. なべ小ねじ
28. 逆止本体
29. スピンドル
30. スプリング
31. ケレップ
32. Uパッキン
33. パッキン受
34. 袋ナット
35. 断熱吐水口
36. オールリング
37. 断熱キャップ
38. ピン
39. オールリング
40. カシメ網
41. 整流板
42. 整流器本体



SK1353D

43. キャップ
44. なべ小ねじ
45. 切替ハンドル
46. シャワ切替部
47. 胴
48. エルボ

保証とアフターサービス

〔保証について〕

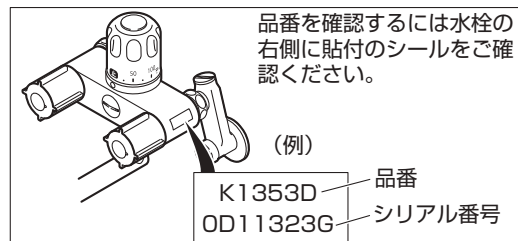
- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。
お買上げ（据付け引渡し）年月日、販売店（工事店）名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの）の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店（工事店）又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ（据付け引渡し）年月日
 - 故障内容、異常の状況（水漏れ箇所の説明など）、部品交換の依頼
 - 訪問希望日
- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」＋「部品代」＋「出張料」で構成されています。
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。
（無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。）
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。



〔部品の交換〕

- 止水部やパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。
- 安全・快適にお使いいただくために、定期的な逆止弁の点検・交換をお願いします。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。
ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。



SAN-EI
株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
TEL (06)6972-5921 FAX (06)6974-7001

東京支店 …… ☎ (03)3683-7471
名古屋支店 …… ☎ (052)800-8688
大阪支店 …… ☎ (06)6972-6981
札幌営業所 …… ☎ (011)782-5353
盛岡営業所 …… ☎ (019)605-7301
仙台営業所 …… ☎ (022)258-6251
新潟営業所 …… ☎ (025)281-1291
さいたま営業所 …… ☎ (048)625-4741
横浜営業所 …… ☎ (045)929-0331

金沢営業所 …… ☎ (076)268-7751
京都営業所 …… ☎ (075)605-5761
神戸営業所 …… ☎ (078)843-9231
広島営業所 …… ☎ (082)922-3631
四国営業所 …… ☎ (089)982-5071
福岡営業所 …… ☎ (092)674-1230
熊本営業所 …… ☎ (096)385-7161
沖縄営業所 …… ☎ (098)869-0890

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>



SAN-EI

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

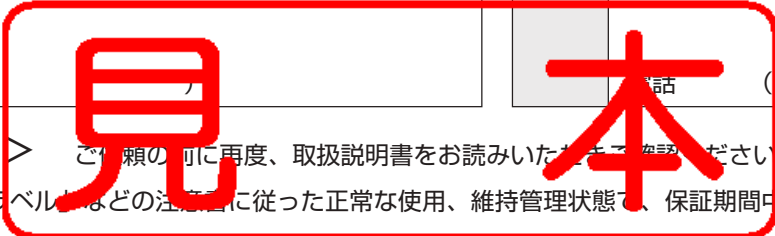
保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ（据付け引渡し）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

| | | |
|-------------------|---------------------------|-------------|
| 品番 | 品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。 | |
| 保証期間 | 対象部品 | 期間（お取付け日から） |
| | 本体 | 2カ年 |
| お買上げ日 （据付け引渡し） | 年 月 日 | |
| お客様 | お名前 様 | |
| | ご住所 | |
| | 電話 | |

| | |
|-----|--------|
| 販売店 | 店名 住所 |
| 工事店 | 電話 () |



<無料修理規定> ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - （1）使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - （2）温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - （3）お買上げ（据付け引渡し）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - （4）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - （5）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - （6）消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - （7）施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - （8）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - （9）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - （10）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - （11）砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - （12）寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - （13）本書の提示がない場合
 - （14）本書にお買上げ（据付け引渡し）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問合せください。

★保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

修理メモ



SAN-EI

株式会社 三栄水栓製作所

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 大阪 TEL (06)6976-8661 東京 TEL (03)3683-7496
 お客様相談室 TEL ☎ 0120-06-9721